

地方活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業評価

No	交付金の種別	事業名	交付金額 (千円)	目標		目標値	H27年度	H28	H29	H30	H31 (目標)	外部有識者の評価			今後の方針	今後の方針の理由																	
				事業効果	事業の評価							外部有識者からの意見																					
1	海外誘客促進事業 ・東南アジア大手旅行会社、マスコミ招致 (訪問6カ国、商談会5カ国) ・観光施設、宿泊施設への無料Wi-Fi設置	海外メディアでの露出数	16,920	回	2	3						地方創生に相当程度効果が あった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・外国人の年間宿泊者数が17万人と平成26年度に比べ1.7倍となり、効果があったと考える。 ・無料Wi-Fiの設置は、目標値に達していないが、外国人の滞在には有効であることから更に増設に努め、インバウンドの推進を図る必要がある。 ・SNS等のツールを活用し、笛吹市をPRすること。	追加等更に発展させる	笛吹市における訪日の実態は、宿泊が主になっていることから、滞在型観光に向け、更に無料Wi-Fiを増設する。ホームページやアプリ、県、他地域や近隣市町村との連携、関連性を高め継続して増設と活用促進に取り組むとともに、SNSやメディアを活用した情報発信、周知活動を行う。																	
				万人/年	10	17																											
				箇所	70	41																											
				グループ	10	8																											
				人	200	157																											
				天津市からの旅行者																													
2	海外誘客促進事業	天津市からの旅行者	809	グループ	10	8						地方創生に効果が あった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・平成27年10月にトップセールスを実施し、平成28年度に200人前後の訪日が決まるなど、効果が高いと考える。	事業の継続	・訪日した人を通じ、更なる訪日者へ繋がると思われる。当事業だけでなく、アプリやホームページとあわせ、継続的に取り組み観光産業の安定化に努める。																	
				人	200	157																											
				3	観光・防災情報アプリ作成事業 ・多言語アプリ作成(Android、iPhone) ・観光情報発信、防災アプリとしても利用可	12,100	観光アプリダウンロード数	人	5,000	257										地方創生に効果が なかった	総合戦略のKPI達成には と言えない	・公開の時期が年度末と遅く、かつ、周知不足により目標値を達成していない。早期目標達成に向けて取り組むこと。 ・外国人が出国前に利用するサイト等への掲載について検討すること。 ・学生等若い世代目線での取り組みも検討すること。 ・多言語かつ避難所案内等に対応し、多くの外国人が安心して訪れるための取組は評価できる。	事業内容の見直し (改善)	アプリは、多言語対応であり、外国人のみならず、市民や日本人観光客のツールとなる。ユーザー目線での更新、新新かつ奇抜なアイデア募集への取組やコンテンツへの工夫について検討し、県や峡東3市による連携、普及への取組を継続的に行う。また、外国人が利用するサイト掲載へ取り組む。									
								団体	60	69																							
								4	まちづくりコンテスト実施事業 ・観光まちづくりコンテスト開催、商品化への取組	3,880	コンテスト参加団体数						団体	60	69										地方創生に効果が あった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・県外からの学生等多数参加したこともあり、市の魅力を感じる機会を作ったことは評価できる。 ・多種多様なコンテスト開催を望む。 ・地域への愛着と関心を高めるため、住民が係りを持ち連携する取組が必要と考える。	追加等更に発展させる	まちづくりに特化することなく、様々なコンテスト開催と地域住民の人々が係りを持つことにより、市自体のブラッシュアップや新たな資源の発掘に繋がる可能性が高い。コンテストの手法等について更に検討を行う。
																	店舗	3	3														
5	ご当地グルメ開発事業 ・ご当地グルメの開発	2,950	ご当地グルメ取扱店舗									店舗	3	3					地方創生に効果が なかった						総合戦略のKPI達成には と言えない	・取扱店舗の目標は達成しているが、周知がなされていない。また、商品化についても更なる研究が必要と思われる。 ・当会議に参加している機関、県内大学等広く協力を得る必要がある。 ・広く協力を得ることによる既成概念にとらわれない取り組みが必要。	事業内容の見直し (改善)	・アイデア募集について、コンテスト等の活用も検討し、特産品として商品化を目指す。 ・当有識者会議参加機関への協力を求め、奇抜なアイデアやアドバイスをいただき商品化に向けた検討・取組を行う。					
												6	海外観光プロモーション ・ホームページの多言語化 ・アメリカでのキャンペーン	11,400	ホームページの多言語化	ページ	100	70															
				アンケート回収	回収	200	125																										
				アンケート分析	回	1	1																										
				北米方面からの観光客	人	500	242																										

地方活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業評価

No	交付金の種別	事業名	交付金額 (千円)	目標		目標値	H27年度	H28	H29	H30	H31 (目標)	外部有識者の評価			今後の方針	今後の方針の理由
												事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見		
7	地方創生先行型 上乘交付金(Ⅰ) (H27.11採択)	地域生活環境の向上における若者・女性等活躍推進事業 ・働く世代の負担になる「高齢者介護」や「子育て」の両方に関する情報をクラウド化し、効率的な情報配信・地域交流、情報共有を可能とすることで、働く世代の負担軽減を促進し、「多世代包括ケア」を実現するための仕組みとシステム導入する。	46,474	地域子育てクラウドを活用した情報配信対象者	人	5	5				300	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・当初の年度における目標は達成されているものの、評価者のみとなっているため、早期に市民や関連事業者が常時使えるよう取組が必要。 ・市民への周知活動、利用促進に向けた普及活動の強化が必要。また、市外へのPRを行い、笛吹市のPRを行うこと。	追加等更に発展させる	・子育て支援に関しては、アプリの早期開発と提供開始し、利便性を向上させ、窓口における周知活動を行い、利用促進に向けて取組む。 ・ホームページへの掲載により市外へのPRをあわせて行う。 ・医療・介護連携は、利用者と事業者への普及活動を更に進める。
8	地方創生先行型 上乘交付金(Ⅱ) (H27.11採択)	イルミネーション(駅前、近津用水) ・2月から3月にかけての観光入込客の増加を目指す	10,000	観光入込客数 (2月、3月の合計)	人	258,704	316,034					地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・目標としていた指標をはるかに超える数値となり、非常に効果があり評価できる。 閑散期の集客に効果があることから、他の閑散期での実施についても検討することを提案する。	追加等更に発展させる	・マンネリ化と規模・時期の拡大などを行い、更なる集客を目指す必要がある。